
画像が表示されない方は[こちら](#) をクリックしてください。



京都知恵産業創造の森

京都産学公連携

メールマガジン



□■□■ KYOTO San-Gaku-Kou ■□■□

京都産学公連携 Mail Magazine

□■□■ 2022.3.22 Vol.095 □■□■

いつもご愛読いただき、ありがとうございます。

東北地方で発生した地震により、尊い人命が失われたほか、東北新幹線をはじめとするインフラに重大な影響が生じているとともに、一部の火力発電所が発電を停止しているため、政府により該当エリアに対して「需給ひっ迫警報」が初めて出されたそうです。東日本大震災から11年が経ちますが、置かれているそれぞれの立場において、改めて防災の備えの再点検が求められています。南海トラフ地震、来てほしくはないですが、いつか必ずやってくるとの認識を強くしました。

=====

オール京都の体制で産学公連携を推進するメールマガジンです。

今後開催を予定していらっしゃる産学公連携に関するイベント等の広報ツールとしてもご活用ください。

ホームページ <https://chiemori.jp/sangaku/>

【目次】

<新規登録イベント等のお知らせ>

◆京都知恵産業創造の森からのお知らせ

[緊急企画！！スタートアップ講座～「魔の川」「死の谷」を乗り越えるには～](#)

◆各団体様からのお知らせ

[京大式Think-upCamp!on-line](#)

[サムコ辻理寄附講座開講記念講義](#)

[京都大学「人を知る」人工知能講座2022](#)

[「京都大学サロンLHS（レフト2022）」～生命\(Life\)・人間\(Human\)・社会\(Society\)～](#)

[京都市成長産業創造センター（ACT京都）入居者募集](#)

緊急企画！！スタートアップ講座～「魔の川」「死の谷」を乗り越えるには～

起業に際しての「魔の川」や「死の谷」を超えるにはどうしたらよいか。2013年に保証書を電子化するサービスをスタートし、米国NASDAQ市場に5月に上場される庄野氏から一緒に学びましょう！

基礎技術の研究成果を元に、新技術が市場のどのようなニーズを満たすことができるのかを探り、具体的な新製品、新サービスの開発プロジェクトとして立ち上げる際にぶつかる「魔の川」。製品開発から実際に製品発売やサービス開始に漕ぎ着けるまでに巨額の資金が必要となり、失敗したときに大きな痛手を被る「死の谷」。これらの困難な壁をいかにして乗り越えるかが、起業目指す方々の大きな課題です。

庄野裕介氏がCEOを務めるWarranteeは9名の社員でフリーインシュアランス（無料保険）について国際特許を申請するとともに、5月には米ナスダック市場に上場されます。今後は、ナスダック上場の知名度を武器に、世界展開を進めていく庄野氏に起業にあたって求められるものについて、お話をお聞きします。

皆さんが起業を考えるにおいて必要なポイントが身につくはずですよ。

【パネリスト】

庄野 裕介氏（株）Warrantee代表取締役

2013年京都大学経済学部卒。

2013年3月に開催された大阪市主催のシリコンバレーツアー（Global Innovation Program2013）において現在のビジネスモデルとなる『保証書の電子化』事業を高評価頂いたのがきっかけで、帰国後日本ベンチャーキャピタルのスタートアップファンドの第1号案件として出資が決まり、起業。

【申込先】定員50名：先着順

<https://open.kyoto/calendar/2947/>

<プログラム>

17 : 15-入室（受付）開始

17 : 30-講師自己紹介と事業紹介

17 : 45-第1部 講演

(株)Warantee 代表取締役 庄野 裕介氏

起業にとって必要なものとは

18 : 15-第2部トークセッション

(株)Warantee 代表取締役 庄野 裕介氏

キャスター・ジャーナリスト 竹内 弘一氏

18 : 45-質疑応答

19 : 00-終了

[続きを読む](#)

[京大式Think-upCamp!on-line](#)

京大式 Think-up Camp! は、京大研究者が有する最先端の知見・シーズとオモイエル株式会社の

「Solution Structure」という考え方をを用いて、みなさまが新たな市場ニーズや研究開発テーマを探索できるセミナーです。

今回のテーマは、中澤篤志准教授（京都大学大学院情報学研究科）の

「人のコミュニケーションを理解するための計測技術～よりよいコミュニケーションを目指して～」

です。画像認識や各種センシング技術を用いて人の行動・状況を計測するという事例は近年増えてきましたが、

人のコミュニケーションまでを深く理解することは容易ではありません。

果たして、この課題を解決し、人の生活や仕事をより有意義かつ刺激的なものにする方法はあるのでしょうか？

本セミナーでは、人のコミュニケーションや心理・感情をテクノロジーを用いて理解しようとする研究や企業の取り組み事例をご紹介します。コミュニケーションが重要視されるサービスの開発に取り組んでいる方、新規事業を検討している方、生体検知など人を計測する技術に興味のある方など、幅広い分野からのご参加をお待ちしております。

[続きを読む](#)

[サムコ辻理寄附講座開講記念講義](#)

サムコ辻理寄附講座の開講を記念して、大学院講義「先端材料科学論／先端材料科学特論」の第1回目を一般の方にも公開して行います。

【開催日時】 2022年4月7日(木)16：10-17：40

【場 所】 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス/オンライン

【内 容】 公開記念講義「材料研究の面白さ」村上正紀

ねらい...材料研究は面白い!と実感しながら博士後期課程で学び、社会の高度化に貢献して頂ける
活気ある若い研究者が一人でも多く育っていただくことを願う。

【定 員】 20名(対面)※先着順※定員に達した場合もオンラインでご参加いただけます

【参加費】 無料

【申 込】 <https://www.kit.ac.jp/entry/view/index.php?id=206671>

【申込締切】 3月31日(木)

詳細はこちら → <https://www.kit.ac.jp/events/events220407-2/>

[続きを読む](#)

[京都大学「人を知る」人工知能講座2022](#)

京都大学「人を知る」人工知能講座、第4期開講!

「人工知能に関する研究開発、事業企画に携わる方」必見の京都大学の最先端研究に従事する現役の教授らが直接指導する特別講座のご案内させていただきます。

【京都大学「人を知る」人工知能講座 特設サイト】

<https://www.kyodai-original.co.jp/jinkouchinou2022/>

本講座は大変ご好評をいただいております、2022年度は第4期開講となります。
過去3年で、延べ約100社、230名の方々に受講いただいております
2022年度は、これまで実施していただくいくつかSessionを統合、
新たに6Sessionでの開講となります。

【Session】

①機械学習②コンピュータビジョン③音声メディア④自然言語処理
⑤心理・認知情報⑥脳情報

【講座概要】

- 日時：全6session、2022年8月～2023年3月各セッション4日or2日
- 会場：Zoomによるオンライン開催、定員：各session20名
- 受講料：Session1～5：33万円（税込） session6：16万5千円（税込）

本講座では、京都大学情報学研究科知能情報学専攻の各研究室の教員が、
最先端の研究内容に基づいた「人を知る」人工知能にまつわる講義と演習を
全6Sessionに渡って提供します。

技術の成り立ちの背景・基礎から、最新の動向、そして演習までをカバーする
専門講座となります。

最先端の研究に携わる専攻教員から直接受ける講義と具体的実装体験を通し、
人工知能の本質の理解と実課題解決に向けた実践的技術の習得を目指します。

セッションごとでのお申込みに加えて、様々なセットでのお申込みメニューも
2022年度はご用意しております。

【講座セット】

・一括セット

すべての6sessionがまとまったセット（①～⑥）136万円 約25% OFF

・メディアセット

知能メディアの3sessionセット（②+③+④）80万円 約20% OFF

・機械学習+セット

機械学習と知能メディアのいずれか1sessionの組み合わせ（①+②or③or④）

53万円 約20% OFF

・脳認知セット

脳認知科学の2sessionセット（⑤+⑥）40万円 約20% OFF

【主催】

京都大学大学院情報学研究科(予定)

京大オリジナル株式会社

【お問い合わせ先】

京大オリジナル株式会社 ナレッジプロモーション事業部

[続きを読む](#)

「京都大学サロンLHS（レフト2022）」～生命(Life)・人間(Human)・社会(Society)～

「京都大学サロンLHS（レフト2022）」～生命(Life)・人間(Human)・社会(Society)～

事業会社の新規事業、研究開発、技術企画のご責任者様・ご担当者様、新しいオープンイノベーション、産学連携を模索されている方必見！

京都大学の文理の知性を結集し、生命、人間、社会を対象に、経済学・情報学・医学を中心に、データサイエンス、人工知能の最先端研究を広く紹介、産官学で活発に交流するサロン。2022年度で3期目の実施！

★お申込み・詳細はこちらから

<https://www.kyodai-original.co.jp/open-academy/program/?no=51>

「大学の先端の現場で何を議論しているか」を活用できるとともに、産学連携の新たな道筋を描くことも可能になります。10年後を見据えた今後の成長事業の根幹につながるテーマ設定のヒントを見つける場となります。

- 2時間程度×年間6回のプログラム（第1回は2022/5/27、18時～20時）
- 各回ごとにテーマを設定、テーマに関して話題提供する教員が登壇
- 受講料：①サロンA会員 30万円（税込）1企業3名まで参加可
②サロンB会員 10万円（税込）1企業1名まで参加可

■日程

- 第1回 2022年5月27日（金）
- 第2回 2022年7月22日（金）
- 第3回 2022年10月14日（金）
- 第4回 2022年11月25日（金）
- 第5回 2023年1月27日（金）
- 第6回 2023年3月31日（金）
- ※各日 18時～20時 ※終了後懇親会（予定）

【開催形式】

オンライン／対面(京都大学キャンパス内)

※新型コロナ・ウイルスの感染状況を睨み、当面はZOOM開催を想定

※リアルな開催（京都大学内での開催を想定）が可能になっても、遠方からの参加が可能なように、オンラインの視聴参加を可能な形で実施

【テーマ例（2021年度実施テーマ含む）】

- 最適政策割当と自己選択の経済学：決めるのは政府か消費者か
- 環境経済学における実験研究とビッグデータ分析の可能性
- 生命システムに対するモデルフリー理論～細胞運命操作と遺伝子制御予測～
- 統計学を哲学する～統計はなぜ科学的根拠になるのか～
- 社会疫学からみる健康長寿達成戦略
- SDGsとEBPM～統計モデルと経済モデルの応用～
- 課題解決のための三種の神器～ドメイン知識・データ科学・システム科学～
- AI・シミュレーションが拓く医療・創薬の未来

【主催：問い合わせ先】

京大オリジナル株式会社 ナレッジプロモーション事業部

Mail : kensyu@kyodai-original.co.jp

[続きを読む](#)

京都市成長産業創造センター（ACT京都）入居者募集

京都市成長産業創造センターでは、ラボの入居者を募集しています。

■募集貸室：

ウェットラボ 85㎡、506号室（5階）

ウェットラボ 85㎡、507号室（5階）

※審査結果の通知は4月下旬、入居開始は6月上旬の予定です。

■所在地：

〒612-8374 京都市伏見区治部町105番地

<http://www.act-kyoto.jp/access>

■賃料：

中小企業 238,000円（税別／月）

大企業 297,500円（税別／月）

保証金賃料3ヶ月分、光熱水費別途請求

※中小企業者とは、中小企業基本法第2条第1項第1号に該当する者

■対象者：

ACT京都の事業目的に沿い、以下のいずれかに該当する方

1. 実用化に向けた企業等との産学連携による研究開発を実施する大学等研究者又は研究者のグループ
2. 事業展開を図るため、大学、研究機関等との産学連携による研究開発を実施する法人

※事業内容が、公序良俗に反する場合や周辺環境への悪影響を及ぼすと認められた場合は、申込みを受け付けない場合があります。

■申込受付期間：

2022年3月15日（火）9:00～2022年4月5日（火）17:00（必着）

■申込方法・詳細：

申込書様式を下記問合せ先にメールで請求し、必要書類一式を郵送又は持参してください。

詳細は以下のURLより募集要項をダウンロードしてご確認ください。

<https://www.act-kyoto.jp/news/tenant2021-4.html>

■問合せ・施設見学申込・申込書の請求及び提出先：

（公財）京都高度技術研究所 地域産業活性化本部

京都市成長産業創造センター（担当：遠藤、堀本）

〒612-8374 京都市伏見区治部町105番地

TEL：075-603-6700（9:00～17:00 土日祝日を除く）

E-Mail：hashiwatashi@astem.or.jp

URL：<https://www.act-kyoto.jp/>

[続きを読む](#)

メルマガの購読状況編集

[購読中止](#) | [購読状況を編集](#)



・このメールマガジンは、ホームページにてご登録いただいたみなさまにお送りしています。

・メールマガジンや(一社)京都知恵産業創造の森 産学公連携推進部へのご意見ご要望などは、renkei@chiemori.jp宛にお送りください。